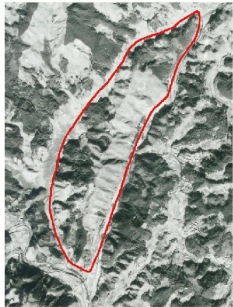


さかの森林

先人たちの努力により、さかの森林が出来ました！

佐賀県の森林面積は、県土の45%を占める約11万haです。そのうち約7割は、人の手によって植えられたスギやヒノキなどの人工林です。県内に人工林が多いのは、戦中戦後にかけて乱伐され荒れてしまった草地を、先人たちが木を植えて育ててきたからです。

森林づくりには長い年月がかかります。先人が育ててきた森林を、次世代の人達もその恵みを受けられるよう引き継いでいく必要があります。



昭和22年頃の森林



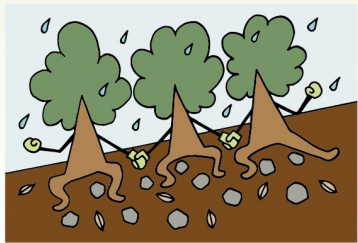
現在の森林



森林の役割

森林は私たちの暮らしを支えています！

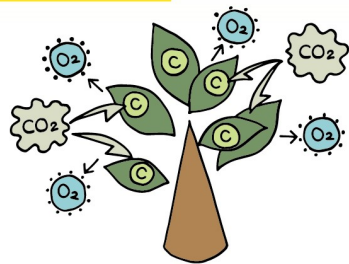
土砂の流出を防ぐ



水を蓄え、きれいにする



地球温暖化を防ぐ



そのほかの機能

- ・昆虫や動物のすみかになる
- ・レクリエーションの場を与える
- ・潮風や砂が飛び散るのを防ぐ
- ・豊かな海に寄与



さかの森林の課題

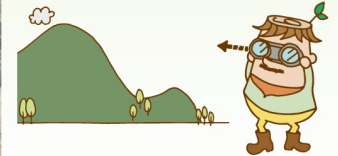
遠くから眺める山は、一見緑豊かのように見えますが、一步森へ足を踏み入ると、日中でも薄暗い、荒廃した森林が残っています。



遠くから見た森林



日中でも暗く、荒れた森林



このまま荒廃が進めば、森林の大切な機能が低下し、さらには山崩れや洪水などの災害が起こり、放置された倒木は流木となって下流に大きな被害をもたらしかねません。



山崩れが発生



下流域での被害



県民協働による森林づくり

荒廃が進む、さかの森林を守っていくには、これまでのように森林所有者だけに任せるのではなく「県民みんなの財産」として県民、林業事業者、CSO等のボランティア団体がそれぞれの役割に応じて、森林を守り育て、支えていく必要があります。



これからの多様な森林づくり

森川海人プロジェクト

「森・川・海はひとつ」という想いを人がつなぐ。佐賀県の豊かな自然環境を未来につなげていくプロジェクトです。

